

# 中期目標・中期計画（素案）

国立大学法人 名古屋大学

平成21年6月30日

## 国立大学法人名古屋大学第二期中期目標・中期計画（素案）

中 期 目 標	中 期 計 画
<p><b>（前文）大学の基本的な目標（学術憲章）</b></p> <p>名古屋大学は、基礎学術に立脚した基幹的総合大学としての役割と、その歴史的・社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念として「名古屋大学学術憲章」を平成12年に定めた。この憲章を、大学の基本的な目標として以下に掲載する。</p> <p>名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的發展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。</p> <p><b>【研究と教育の基本目標】</b></p> <p>(1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。</p> <p>(2) 名古屋大学は、自発性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。</p> <p><b>【社会的貢献の基本目標】</b></p> <p>(1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。</p> <p>(2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。</p> <p>(3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。</p> <p><b>【研究教育体制の基本方針】</b></p> <p>(1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。</p> <p>(2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。</p>	

中期目標	中期計画
<p>(3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点を形成する。</p> <p><b>【大学運営の基本方針】</b></p> <p>(1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自発性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する。</p> <p>(2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求める。</p> <p>(3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。</p>	
<p>◆ <b>中期目標の期間及び教育研究組織</b></p> <p><b>1 中期目標の期間</b> 平成22年4月～平成28年3月</p> <p><b>2 教育研究組織</b> この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。</p>	
<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</b></p> <p><b>1 教育に関する目標</b></p> <p><b>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標</b> M1 長期的視点に立って、質の高い教養・学部専門・大学院教育を行う。</p> <p><b>(2) 教育の実施体制等に関する目標</b> M2 教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。</p> <p><b>(3) 学生への支援に関する目標</b> M3 自律的な学習と生活を支援する環境を充実させる。</p>	<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</b> K1 教養・学部専門教育を充実させる。 K2 大学院課程の教育体系を整備し、教育方法を改善する。 K3 留学生等の多様な学生への教育を整備する。</p> <p><b>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</b> K4 全学教育体制を維持し、教養教育院の機能を充実させる。 K5 教育の実施体制・方法・結果を点検し、改善に活かす。 K6 学術的・社会的役割の観点から教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</p> <p><b>(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置</b> K7 学生への経済的援助や課外活動支援を行う。 K8 学習・進学・就職・心身の健康管理を支援する体制を整備する。 K9 支援を必要とする学生へのサポートを充実させる。</p>

中期目標	中期計画
<p><b>2 研究に関する目標</b></p> <p><b>(1) 研究水準、成果及び実施体制等に関する目標</b></p> <p>M4 本学の「研究推進計画」に基づき、国際水準の研究を推進する。</p> <p><b>3 その他の目標</b></p> <p><b>(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標</b></p> <p>M5 社会・産業界・行政・他大学等との連携を通じて、社会に貢献する。</p> <p><b>(2) 国際化に関する目標</b></p> <p>M6 研究・教育・業務運営における国際化を進める。</p> <p><b>(3) 学術の基盤に関する目標</b></p> <p>M7 知の連携・継承・創造の礎となる学術基盤を充実させる。</p> <p><b>(4) 附属病院に関する目標</b></p> <p>M8 良質で安全な医療を提供する。</p> <p>M9 臨床研究を通して社会に貢献する。</p> <p><b>(5) 附属学校に関する目標</b></p> <p>M10 附属学校の教育実践の質を高め、中高大連携を進める。</p>	<p><b>2 研究に関する目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(1) 研究水準、成果及び実施体制等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>K10 中核的な研究拠点を形成する。</p> <p>K11 若手研究者を育成するための環境を整備する。</p> <p>K12 共同利用・共同研究拠点を含む研究所・センター等の機能と活動を充実させる。</p> <p>K13 質の高い学術成果を社会に発信する。</p> <p><b>3 その他の目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>K14 さまざまな組織と協力し、教育・文化・福祉・安全の向上に貢献する。</p> <p>K15 産学官連携を推進し、社会に貢献する。</p> <p>K16 卒業生・修了生のコミュニティを通じ、社会との連携を深める。</p> <p><b>(2) 国際化に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>K17 国際コース群（仮称）の設置等により留学生の比率を10%以上に増やし、国際化に対応した教育プログラムを充実させる。</p> <p>K18 グローバルな視点で学術活動・国際協力を進める。</p> <p>K19 業務運営における国際化を進める。</p> <p><b>(3) 学術の基盤に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>K20 学術情報基盤・サービスを充実させ、セキュリティを高める。</p> <p>K21 附属図書館・博物館の機能と活動を充実させる。</p> <p><b>(4) 附属病院に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>K22 診療過程の標準化を進め、医療の質を維持・向上させる。</p> <p>K23 社会が求める高い専門性を備えた医療人の育成を進める。</p> <p>K24 地域医療の中核病院としての役割を担う。</p> <p>K25 高度で先端的な医療を進める。</p> <p>K26 次世代の臨床研究を進める。</p> <p>K27 臨床研究を支える多様な人材の育成を進める。</p> <p><b>(5) 附属学校に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>K28 教育プログラムや教材の開発を進める。</p> <p>K29 附属学校と学部・研究科等との連携を進める。</p>

中期目標	中期計画
<p><b>Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標</b></p> <p><b>1 組織運営の改善に関する目標</b> M11 組織運営システムの機能強化を図る。</p> <p><b>2 事務等の効率化・合理化に関する目標</b> M12 事務等の効率化・合理化を図る。</p>	<p><b>Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</b> K30 意思決定の機動性を高めるために、体制を継続的に見直す。 K31 教員の一定数を特別枠として確保し、全学的見地から戦略的に活用する。 K32 学内組織を継続的に見直す。 K33 国内外の多様な人材を活用する。</p> <p><b>2 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置</b> K34 職務能力開発・向上に取り組む。 K35 業務の点検・見直し・改善を行う。</p>
<p><b>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標</b></p> <p><b>1 外部資金、寄附金その他の自己収入に関する目標</b> M13 安定した財務基盤を維持する。</p> <p><b>2 経費の抑制に関する目標</b> M14 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」（平成18年法律第47号）に基づき、平成18年度以降の5年間において国家公務員に準じた人件費削減を行う。更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（平成18年7月7日閣議決定）に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成23年度まで継続する。また、経費の抑制に努める。</p> <p><b>3 資産の運用管理の改善に関する目標</b> M15 効率的に資産を運用する。</p>	<p><b>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 外部資金、寄附金その他の自己収入に関する目標を達成するための措置</b> K36 外部研究資金獲得を高水準で維持する。 K37 寄附金収入を確保するための多様な取組を行う。 K38 附属病院の収入基盤の安定化に努める。</p> <p><b>2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置</b> K39 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」（平成18年法律第47号）に基づき、国家公務員に準じた人件費改革に取り組み、平成18年度からの5年間において、△5%以上の人件費削減を行う。更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（平成18年7月7日閣議決定）に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成23年度まで継続する。 K40 業務の見直し等により経費を抑制する。</p> <p><b>3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置</b> K41 資金の安全かつ効率的な運用を進める。 K42 学内資産を有効活用する。 K43 学内施設管理の効率化を進める。</p>
<p><b>Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標</b></p> <p><b>1 自己点検・評価に関する目標</b> M16 自己点検・評価を適切に実施し、評価結果を改善に活用する。</p>	<p><b>Ⅳ 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 自己点検・評価に関する目標を達成するための措置</b> K44 自己点検・評価を継続的に実施する。 K45 自己点検・評価システムを点検し、必要な改善を行う。 K46 部局評価を実施し、運営に活かす。</p>

中期目標	中期計画
<p><b>2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標</b> M17 教育・研究活動等を積極的に発信し、説明責任を果たす。</p>	<p><b>2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置</b> K47 多様なメディアを活用し、教育・研究活動等を迅速に情報発信する。 K48 自己点検・評価等に関する情報発信を進める。</p>
<p><b>V その他業務運営に関する重要目標</b></p> <p><b>1 施設・設備の整備等に関する目標</b> M18 「名古屋大学キャンパスマスタープラン大綱」に基づき、環境に配慮したキャンパス整備を進める。</p> <p><b>2 安全管理に関する目標</b> M19 安全なキャンパスづくりを進める。</p> <p><b>3 法令遵守に関する目標</b> M20 法令を遵守し、適正な業務の遂行に努める。</p>	<p><b>V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 施設・設備の整備等に関する目標を達成するための措置</b> K49 教育研究環境の整備等を進める。 K50 環境保全と省エネルギー設備の整備等を進める。</p> <p><b>2 安全管理に関する目標を達成するための措置</b> K51 安全性の高い学内環境を整備する。 K52 防災・災害対策を進める。</p> <p><b>3 法令遵守に関する目標を達成するための措置</b> K53 法令遵守に関する啓発活動を行う。 K54 法令遵守の状況を定期的に点検する。</p>

中期目標		中期計画	
別表1 (学部、研究科等)		別表 (収容定員)	
学部	文学部 教育学部 法学部 経済学部 情報文化学部 理学部 医学部 工学部 農学部	平成22年度	文学部 520人 教育学部 280人 法学部 620人 経済学部 840人 情報文化学部 320人 理学部 1,080人 医学部 1,464人 (うち 医師養成に係る分野 606人) 工学部 2,960人 農学部 680人
研究科	文学研究科 教育発達科学研究科 法学研究科 経済学研究科 理学研究科 医学系研究科 工学研究科 生命農学研究科 国際開発研究科 多元数理科学研究科 国際言語文化研究科 環境学研究科 情報科学研究科		文学研究科 210人 (うち 博士課程(前期) 120人 博士課程(後期) 90人) 教育発達科学研究科 201人 (うち 博士課程(前期) 108人 博士課程(後期) 93人) 法学研究科 351人 (うち 博士課程(前期) 70人 博士課程(後期) 51人 専門職学位課程 230人) 経済学研究科 154人 (うち 博士課程(前期) 88人 博士課程(後期) 66人) 理学研究科 548人 (うち 博士課程(前期) 329人 博士課程(後期) 219人) 医学系研究科 841人 (うち 修士課程 50人 博士課程(前期) 96人 博士課程(後期) 51人 博士一貫課程 644人) 工学研究科 1,435人 (うち 博士課程(前期) 1,000人 博士課程(後期) 435人) 生命農学研究科 425人 (うち 博士課程(前期) 266人 博士課程(後期) 159人)
別表2 (共同利用・共同研究拠点)			
太陽地球環境研究所 地球水循環研究センター 情報基盤センター			

中期目標	中期計画					
	平成 22 年度	国際開発研究科	224人	(うち 博士課程(前期) 博士課程(後期))	(128人 96人)	
		多元数理科学研究科	184人	(うち 博士課程(前期) 博士課程(後期))	(94人 90人)	
		国際言語文化研究科	168人	(うち 博士課程(前期) 博士課程(後期))	(96人 72人)	
		環境学研究科	466人	(うち 博士課程(前期) 博士課程(後期))	(274人 192人)	
		情報科学研究科	370人	(うち 博士課程(前期) 博士課程(後期))	(252人 118人)	

中期目標

中期計画

別表（収容定員）

平成 23 年度	文学部	5 2 0人	
	教育学部	2 8 0人	
	法学部	6 2 0人	
	経済学部	8 4 0人	
	情報文化学部	3 2 0人	
	理学部	1, 0 8 0人	
	医学部	1, 4 7 2人	
		(うち 医師養成に係る分野 6 1 4人)	
	工学部	2, 9 6 0人	
	農学部	6 8 0人	
	文学研究科	2 1 0人	
		{ うち 博士課程 (前期) 1 2 0人	
		{ 博士課程 (後期) 9 0人	
	教育発達科学研究科	2 0 1人	
	{ うち 博士課程 (前期) 1 0 8人		
	{ 博士課程 (後期) 9 3人		
法学研究科	3 4 1人		
	{ うち 博士課程 (前期) 7 0人		
	{ 博士課程 (後期) 5 1人		
	{ 専門職学位課程 2 2 0人		
経済学研究科	1 5 4人		
	{ うち 博士課程 (前期) 8 8人		
	{ 博士課程 (後期) 6 6人		
理学研究科	5 6 9人		
	{ うち 博士課程 (前期) 3 5 0人		
	{ 博士課程 (後期) 2 1 9人		
医学系研究科	8 4 1人		
	{ うち 修士課程 5 0人		
	{ 博士課程 (前期) 9 6人		
	{ 博士課程 (後期) 5 1人		
	{ 博士一貫課程 6 4 4人		
工学研究科	1, 4 3 5人		
	{ うち 博士課程 (前期) 1, 0 0 0人		
	{ 博士課程 (後期) 4 3 5人		
生命農学研究科	4 3 7人		
	{ うち 博士課程 (前期) 2 9 0人		
	{ 博士課程 (後期) 1 4 7人		

中期目標	中期計画			
	平成 23 年度	国際開発研究科	224人	128人
		〔うち 博士課程（前期） 博士課程（後期）〕	96人	
		多元数理科学研究科	184人	94人
		〔うち 博士課程（前期） 博士課程（後期）〕	90人	
		国際言語文化研究科	168人	96人
		〔うち 博士課程（前期） 博士課程（後期）〕	72人	
		環境学研究科	466人	274人
		〔うち 博士課程（前期） 博士課程（後期）〕	192人	
		情報科学研究科	357人	252人
		〔うち 博士課程（前期） 博士課程（後期）〕	105人	

中期目標

中期計画

別表（収容定員）

平成 24 年度	文学部	5 2 0人	
	教育学部	2 8 0人	
	法学部	6 2 0人	
	経済学部	8 4 0人	
	情報文化学部	3 2 0人	
	理学部	1, 0 8 0人	
	医学部	1, 4 8 0人	
		(うち 医師養成に係る分野 6 2 2人)	
	工学部	2, 9 6 0人	
	農学部	6 8 0人	
	文学研究科	2 1 0人	
		{ うち 博士課程 (前期) 1 2 0人	
		{ 博士課程 (後期) 9 0人	
	教育発達科学研究科	2 0 1人	
	{ うち 博士課程 (前期) 1 0 8人		
	{ 博士課程 (後期) 9 3人		
法学研究科	3 3 1人		
	{ うち 博士課程 (前期) 7 0人		
	{ 博士課程 (後期) 5 1人		
	{ 専門職学位課程 2 1 0人		
経済学研究科	1 5 4人		
	{ うち 博士課程 (前期) 8 8人		
	{ 博士課程 (後期) 6 6人		
理学研究科	5 6 9人		
	{ うち 博士課程 (前期) 3 5 0人		
	{ 博士課程 (後期) 2 1 9人		
医学系研究科	8 4 1人		
	{ うち 修士課程 5 0人		
	{ 博士課程 (前期) 9 6人		
	{ 博士課程 (後期) 5 1人		
	{ 博士一貫課程 6 4 4人		
工学研究科	1, 4 3 5人		
	{ うち 博士課程 (前期) 1, 0 0 0人		
	{ 博士課程 (後期) 4 3 5人		
生命農学研究科	4 2 5人		
	{ うち 博士課程 (前期) 2 9 0人		
	{ 博士課程 (後期) 1 3 5人		

中期目標	中期計画					
	平成 24 年度	国際開発研究科	224人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	128人 96人	
		多元数理科学研究科	184人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	94人 90人	
		国際言語文化研究科	168人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	96人 72人	
		環境学研究科	466人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	274人 192人	
		情報科学研究科	357人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	252人 105人	

中期目標	中期計画		
	別表（収容定員）		
	平成25年度	文学部 520人 教育学部 280人 法学部 620人 経済学部 840人 情報文化学部 320人 理学部 1,080人 医学部 1,488人 (うち 医師養成に係る分野 630人) 工学部 2,960人 農学部 680人	
	文学研究科 210人 (うち 博士課程(前期) 120人 博士課程(後期) 90人) 教育発達科学研究科 201人 (うち 博士課程(前期) 108人 博士課程(後期) 93人) 法学研究科 331人 (うち 博士課程(前期) 70人 博士課程(後期) 51人 専門職学位課程 210人) 経済学研究科 154人 (うち 博士課程(前期) 88人 博士課程(後期) 66人) 理学研究科 569人 (うち 博士課程(前期) 350人 博士課程(後期) 219人) 医学系研究科 841人 (うち 修士課程 50人 博士課程(前期) 96人 博士課程(後期) 51人 博士一貫課程 644人) 工学研究科 1,435人 (うち 博士課程(前期) 1,000人 博士課程(後期) 435人) 生命農学研究科 425人 (うち 博士課程(前期) 290人 博士課程(後期) 135人)		

中期目標	中期計画					
	平成 25 年度	国際開発研究科	224人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	128人 96人	
		多元数理科学研究科	184人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	94人 90人	
		国際言語文化研究科	168人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	96人 72人	
		環境学研究科	466人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	274人 192人	
		情報科学研究科	357人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	252人 105人	

中期目標	中期計画		
	別表（収容定員）		
	平成26年度	文学部 520人 教育学部 280人 法学部 620人 経済学部 840人 情報文化学部 320人 理学部 1,080人 医学部 1,496人 (うち 医師養成に係る分野 638人) 工学部 2,960人 農学部 680人	
	文学研究科 210人 (うち 博士課程(前期) 120人 博士課程(後期) 90人) 教育発達科学研究科 201人 (うち 博士課程(前期) 108人 博士課程(後期) 93人) 法学研究科 331人 (うち 博士課程(前期) 70人 博士課程(後期) 51人 専門職学位課程 210人) 経済学研究科 154人 (うち 博士課程(前期) 88人 博士課程(後期) 66人) 理学研究科 569人 (うち 博士課程(前期) 350人 博士課程(後期) 219人) 医学系研究科 841人 (うち 修士課程 50人 博士課程(前期) 96人 博士課程(後期) 51人 博士一貫課程 644人) 工学研究科 1,435人 (うち 博士課程(前期) 1,000人 博士課程(後期) 435人) 生命農学研究科 425人 (うち 博士課程(前期) 290人 博士課程(後期) 135人)		

中期目標	中期計画					
	平成 26 年度	国際開発研究科	224人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	128人 96人	
		多元数理科学研究科	184人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	94人 90人	
		国際言語文化研究科	168人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	96人 72人	
		環境学研究科	466人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	274人 192人	
		情報科学研究科	357人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	252人 105人	

中期目標	中期計画		
	別表（収容定員）		
平成27年度	文学部 教育学部 法学部 経済学部 情報文化学部 理学部 医学部 工学部 農学部	520人 280人 620人 840人 320人 1,080人 1,496人 2,960人 680人	(うち 医師養成に係る分野 638人)
文学研究科	210人	(うち 博士課程(前期) 120人 博士課程(後期) 90人)	
教育発達科学研究科	201人	(うち 博士課程(前期) 108人 博士課程(後期) 93人)	
法学研究科	331人	(うち 博士課程(前期) 70人 博士課程(後期) 51人 専門職学位課程 210人)	
経済学研究科	154人	(うち 博士課程(前期) 88人 博士課程(後期) 66人)	
理学研究科	569人	(うち 博士課程(前期) 350人 博士課程(後期) 219人)	
医学系研究科	841人	(うち 修士課程 50人 博士課程(前期) 96人 博士課程(後期) 51人 博士一貫課程 644人)	
工学研究科	1,435人	(うち 博士課程(前期) 1,000人 博士課程(後期) 435人)	
生命農学研究科	425人	(うち 博士課程(前期) 290人 博士課程(後期) 135人)	

中期目標	中期計画					
	平成 27 年度	国際開発研究科	224人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	128人 96人	
		多元数理科学研究科	184人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	94人 90人	
		国際言語文化研究科	168人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	96人 72人	
		環境学研究科	466人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	274人 192人	
		情報科学研究科	357人	{うち 博士課程 (前期) 博士課程 (後期)}	252人 105人	